

USD/JPY

■基本データ

(株)チャートリーディング 井上 義教

[四本値]

※黄色:週間高値/安値

	始値	高値	安値	終値
18/11/02(金)	112.66	113.32	112.56	113.21
18/11/05(月)	113.14	113.34	113.07	113.20
18/11/06(火)	113.19	113.50	113.10	113.45
18/11/07(水)	113.40	113.82	112.95	113.57
18/11/08(木)	113.51	114.08	113.47	114.00
18/11/09(金)	114.04	114.06	113.64	113.83
前週末比	1.38	0.74	1.08	0.62

[高値・安値]

	過去5日	過去20日	過去75日
高値	114.08	114.08	114.55
安値	112.95	111.38	109.77

[移動平均]

	5日	20日	75日
18/11/02(金)	112.85	112.51	111.91
18/11/09(金)	113.61	112.77	112.08
前週末比	0.76	0.26	0.16

■テクニカル指標

[MACD]

	MACD	Signal
18/11/02(金)	0.09	0.01
18/11/09(金)	0.31	0.14
前週末比	0.22	0.13

[ストキャスティクス]

	%K線(9)	%D線(5)	%DS線(5)
18/11/02(金)	91	80	68
18/11/09(金)	86	92	88
前週末比	-5	12	20

[ボリンジャーバンド]

	+2σ(20)	-2σ(20)	バンド幅
18/11/02(金)	113.33	111.70	1.63
18/11/09(金)	113.99	111.56	2.43
前週末比	0.66	-0.14	0.80

[チャート]



■チャートコメント

- (1)先週は、水曜日に安値を付け、木曜日に高値を付ける展開でした。実体線が3本の移動平均線の上に位置している状態が続き、緩やかな上昇トレンドを消化してきています。週末は、やや利食い売りに押されたのでしょうか、陰線が出現しましたが、それでも前日(木曜日)の実体線を包むまでには遠く、下ヒゲも伴っていることから、先高感がなお残る状況だと思えます。
- (2)移動平均線は、3本とも上昇しました。実体線の居場所も、3本の移動平均線の上方ということで、先週金曜日の陰線の出現にかかわらず、チャートが売り転換したという印象はありません。懸念されていた中期の移動平均線も、無事上昇傾向へ舵取りを変えてきており、実体線が戻れば再度上昇トレンドへの回帰ということになると思えます。
- (3)MACDは、MACD線・シグナル線ともに上伸しました。ゼロラインの上方での上伸ですので、やや勢いを感じさせるものではありません。ゴールデンクロス後の上伸ですし、チャート形成そのものは悪くない印象です。
- (4)今週は、引き続き買い先行で臨みたいところです。先週1週間の動きを見ると、上値・下値とも切り上げてきており、買いの勢いという点では衰えを感じさせるものではないからです。114円台を一気に買い進むような状況には持ち込めないとは思いますが、ボラティリティの低下はどちらかと言うと買い方にフェイバーな状況かもしれません。先週金曜日の安値・先週木曜日の安値、この辺りは買いポジションの損切りポイントとして意識されるところです。できるだけ買われたところを買うようなイメージで臨みたいところです。

情報提供元: (株)チャートリーディング

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様が生じたいかなる損害についても、株式会社チャートリーディングは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

EUR/JPY

■基本データ

(株)チャートリーディング 井上 義教

[四本値]

※黄色:週間高値/安値

	始値	高値	安値	終値
18/11/02(金)	128.55	129.32	128.37	128.93
18/11/05(月)	128.82	129.32	128.60	129.12
18/11/06(火)	129.12	129.61	128.86	129.61
18/11/07(水)	129.53	130.14	129.39	129.76
18/11/08(木)	129.75	130.12	129.39	129.56
18/11/09(金)	129.58	129.64	128.75	129.02
前週末比	1.03	0.32	0.38	0.09

[高値・安値]

	過去5日	過去20日	過去75日
高値	130.14	130.29	133.13
安値	128.60	126.64	124.90

[移動平均]

	5日	20日	75日
18/11/02(金)	128.27	128.95	129.44
18/11/09(金)	129.41	128.85	129.41
前週末比	1.14	-0.10	-0.03

■テクニカル指標

[MACD]

	MACD	Signal
18/11/02(金)	-0.56	-0.60
18/11/09(金)	-0.19	-0.45
前週末比	0.38	0.14

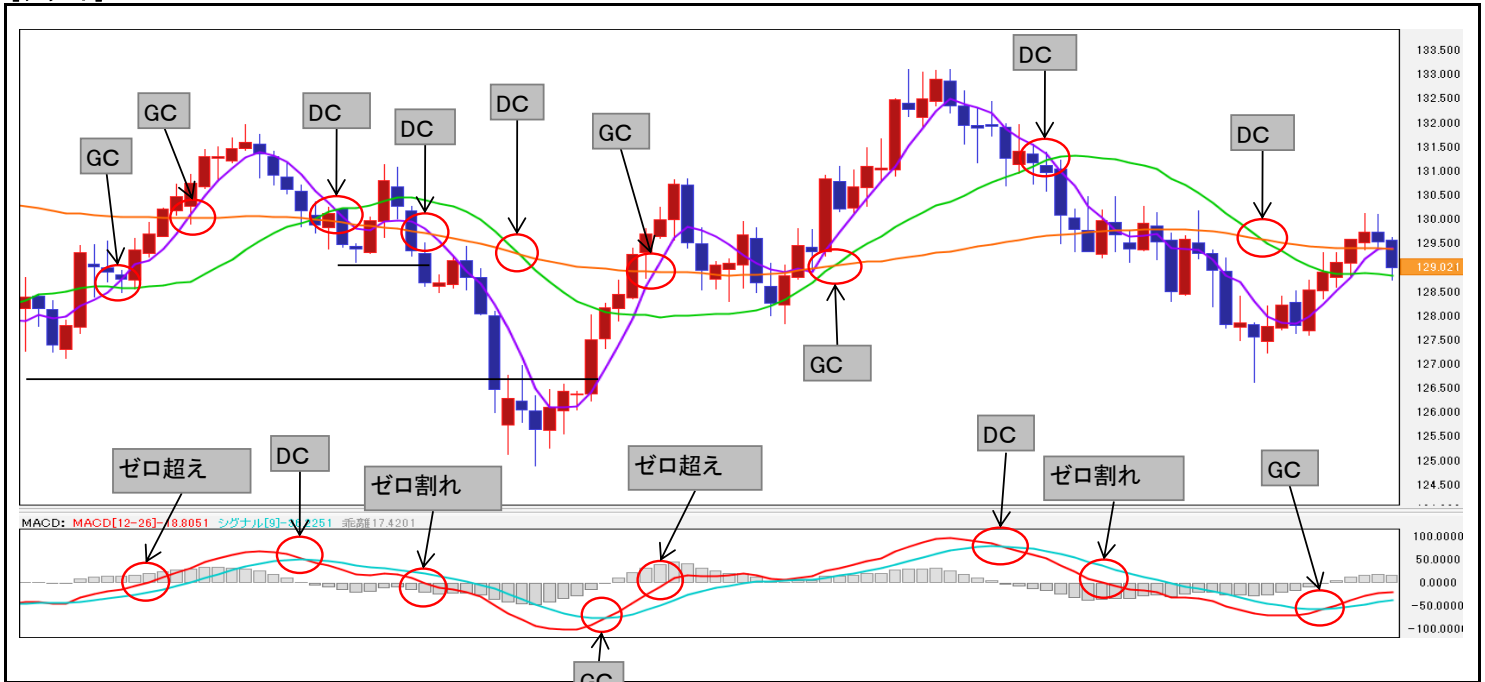
[ストキャスティクス]

	%K線(9)	%D線(5)	%DS線(5)
18/11/02(金)	84	48	33
18/11/09(金)	56	84	77
前週末比	-28	36	44

[ボリンジャーバンド]

	+2σ(20)	-2σ(20)	バンド幅
18/11/02(金)	130.60	127.29	3.31
18/11/09(金)	130.34	127.36	2.98
前週末比	-0.26	0.07	-0.33

[チャート]



■チャートコメント

- (1)先週は、月曜日に安値を付け、水曜日に高値を付ける展開でした。週中に山を形成、週末にかけてダレる展開で、実体線が長期の移動平均線を境に上下に動いた様子がチャートからもうかがえます。実体線の動きを見ているだけでは、リスクテイクそのものが困難な状況が続いていると言えそうですね。ただし、先週金曜日の陰線は、大きさはそれほど大きくはないものの、火曜日の陽線までも包んで安く引けたことで、やや買いにくい形状になってしまったという印象は否めません。
- (2)移動平均線は、短期の上昇が目立ちます。ただし、これは週末までの実体線の上昇を織り込んだもので、あまり意味を持たないと考えた方がよいでしょう。どちらかと言うと、実体線の居場所が短期の移動平均線を下回ったことの意味の方が大きいかもしれませんね。また、中期の移動平均線水準が相変わらず長期の移動平均線の下側に位置していることも材料としては小さくないように思います。
- (3)MACDは、MACD線・シグナル線ともに上伸しました。ただし、これも実体線の動きを優先させて考えなければいけませんので、この上伸を重視する必要はないように思います。また、ゼロラインの下側でののんびりした上伸ですので、この点でもやや強さを感じさせる印象はありません。
- (4)今週は、売り買いどちら？ という観点で言うと、やや売りに傾けてみたい印象です。1週間でも上下1円50銭という狭いレンジの動きが続いていますが、その中であって、週末の引けの水準が火曜日の引けをも下回って引けたということで、買い方の落胆が予想されるからです。しかし、一方で、実体線が少し戻って、例えば金曜日の陰線を上回るようになると、再び強気基調が支持される展開も十分予想されます。そういう意味では、もう少しチャート形成を見守り、トレンドらしい動きが出てくるのを待った方がよいのではないのでしょうか。私なら、売るのであればユーロ円よりもユーロドルを優先させます。

情報提供元: (株)チャートリーディング
 本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様が生じたいかなる損害についても、株式会社チャートリーディングは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

[四本値]

※黄色:週間高値/安値

	始値	高値	安値	終値
18/11/02(金)	146.48	147.25	146.29	146.83
18/11/05(月)	147.29	147.80	146.81	147.65
18/11/06(火)	147.57	148.69	147.30	148.64
18/11/07(水)	148.50	149.23	148.34	149.10
18/11/08(木)	149.05	149.48	148.61	148.91
18/11/09(金)	148.96	149.06	147.50	147.67
前週末比	2.48	1.81	1.21	0.84

[高値・安値]

	過去5日	過去20日	過去75日
高値	149.48	149.48	149.72
安値	146.81	142.78	139.89

[移動平均]

	5日	20日	75日
18/11/02(金)	144.99	146.30	145.40
18/11/09(金)	148.39	146.36	145.56
前週末比	3.40	0.06	0.16

■テクニカル指標

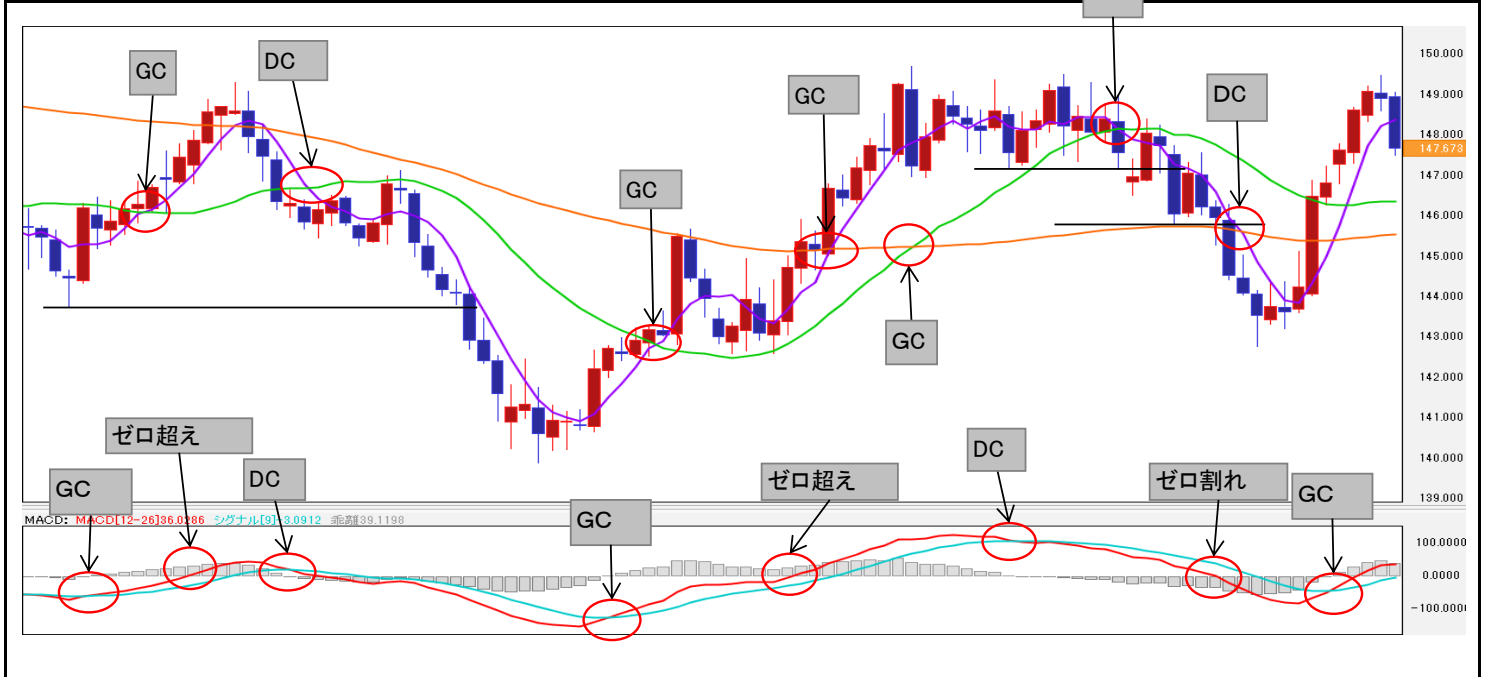
[MACD]

[ストキャスティクス]

[ボリンジャーバンド]

	MACD	Signal	%K線(9)	%D線(5)	%DS線(5)	+2σ(20)	-2σ(20)	バンド幅
18/11/02(金)	-0.50	-0.52	91	45	23	149.70	142.90	6.80
18/11/09(金)	0.36	-0.25	71	91	84	149.93	142.79	7.14
前週末比	0.86	0.27	-20	46	61	0.23	-0.11	0.34

[チャート]



■チャートコメント

- (1)先週は、月曜日に安値を付け、木曜日に高値を付ける展開でした。ユーロ円と同様、週央に高値を付ける展開になりましたが、上昇も急なら下落も急で、チャートの分析がどうのという感じではなく、単に高いところを買い進めなかったということによっていったん下落したという印象を強く与えています。先週の週央までの上伸は、それこそ迫力もあり、一気に高値を超えてくる予想が強かったのですが、週末にかけてダレたことで、今後の展開は非常に読みにくいものとなっています。
- (2)移動平均線は、ユーロ円と同様に、短期の上昇が目立ちます。しかし、前週末対比で3円40銭の上昇というのは、やはり過熱感という点では否定しがたいものがあり、そういう意味では、先週金曜日の急落も説明の付く動きといえるかもしれません。
- (3)MACDは、MACD線・シグナル線ともに上伸しました。実体線が伸びていますので、MACDも当然に上伸・・・という形でしょうか。実体線自体が金曜日に急落していますので、MACDの上伸にはあまり意味はありません。MACD線がゼロラインの上、シグナル線がゼロラインの下側と、それぞれの居場所も異なり、不透明感が漂う状況となっています。
- (4)今週は、少し様子を見たい感じがします。実体線が伸びて急落、居場所自体は中期・長期の移動平均線の上方という形ですが、このチャート形成で売り買いを明確に示すことは難しいと思います。ただ、先々週以降の上伸の威力を見ると、すぐにチャートが陰転、売り先行という形に持ち込まれる可能性は高くないように思います。そのように考えると、先週高値を越えてきそうなシナリオが描けるのであれば、思い切って買い先行で攻めてみるという形が妥当でしょうか。いずれにしても、今週の冒頭は少し様子を見ざるを得ないのではないかと思います。

AUD/JPY

■基本データ

(株)チャートリーディング 井上 義教

[四本値]

※黄色:週間高値/安値

	始値	高値	安値	終値
18/11/02(金)	81.16	81.94	81.03	81.48
18/11/05(月)	81.36	81.72	81.24	81.62
18/11/06(火)	81.59	82.19	81.57	82.15
18/11/07(水)	82.07	82.70	81.86	82.60
18/11/08(木)	82.56	83.05	82.51	82.74
18/11/09(金)	82.74	82.88	82.11	82.26
前週末比	1.58	0.93	1.08	0.78

[高値・安値]

	過去5日	過去20日	過去75日
高値	83.05	83.05	83.25
安値	81.24	78.56	78.56

[移動平均]

	5日	20日	75日
18/11/02(金)	80.43	79.94	80.89
18/11/09(金)	82.27	80.55	80.89
前週末比	1.84	0.61	0.00

■テクニカル指標

[MACD]

	MACD	Signal
18/11/02(金)	-0.03	-0.30
18/11/09(金)	0.50	0.09
前週末比	0.53	0.38

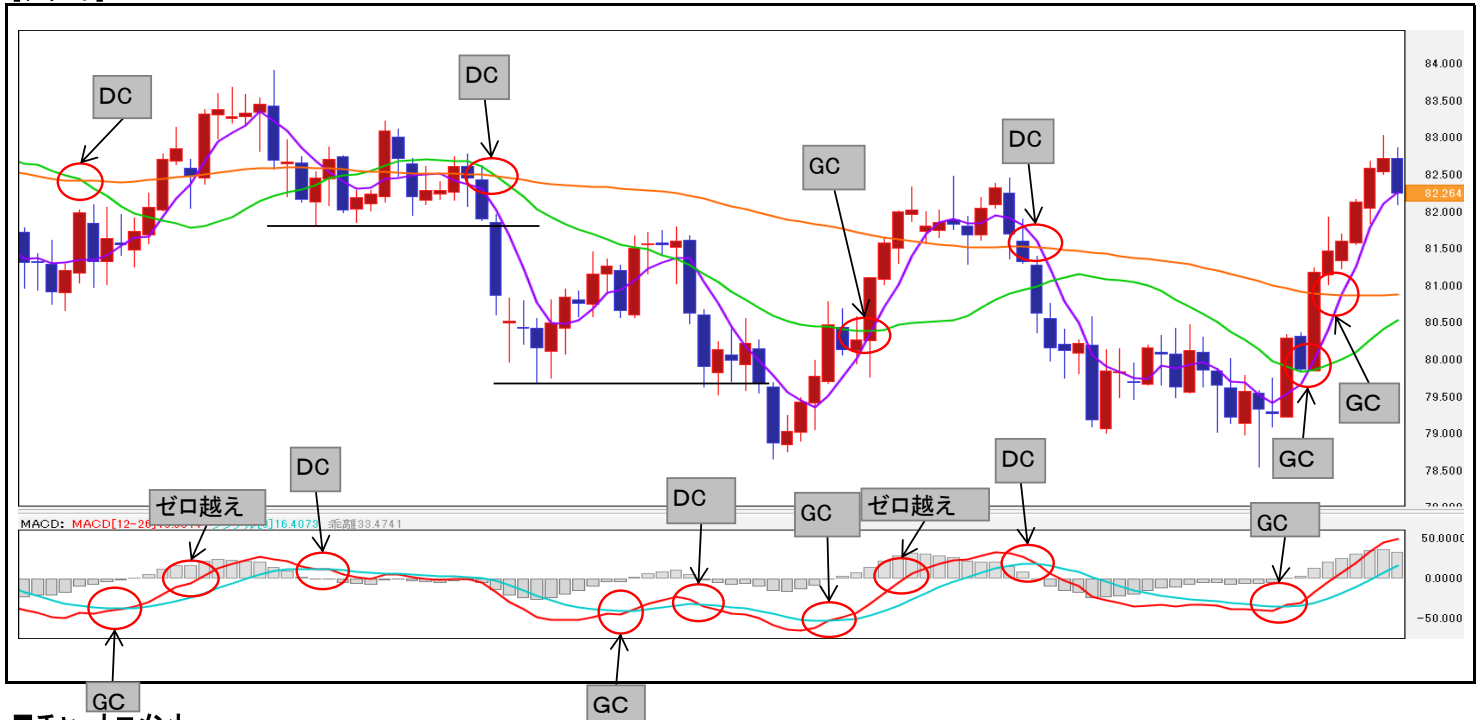
[ストキャスティクス]

	%K線(9)	%D線(5)	%DS線(5)
18/11/02(金)	86	79	57
18/11/09(金)	79	92	91
前週末比	-7	13	34

[ボリンジャーバンド]

	+2σ(20)	-2σ(20)	バンド幅
18/11/02(金)	81.09	78.80	2.29
18/11/09(金)	82.85	78.25	4.60
前週末比	1.76	-0.55	2.31

[チャート]



■チャートコメント

- (1)先週は、月曜日に安値を付け、木曜日に高値を付ける展開でした。チャート形成の状況はポンド円とだいたい同じで、週央にかけて大きく買われ、週末に少しダレる展開となりました。戻り高値を越えて強いかもと思わせたところからの下落ということで、金曜日の下落はややショッキングな形状となりましたが、ただ、一方で趨勢としての上昇トレンドが本当に否定されたのかというと、まだまだ答えは出ていないように思います。陽線続きの相場でしたので、いったんお休みというのが本当のところではないかと思えます。
- (2)移動平均線は、短期・中期の上伸が目立ちます。実体線がこれだけ急角度で上昇してきましたので、短期・中期が上伸するのは当然としても、長期の移動平均線はまだまだ反応薄、そういう意味では、実体線がいくら激しく動いたところで、本物のトレンド形成には至っていないという判断が妥当のように思います。
- (3)MACDは、MACD線・シグナル線ともに上伸しました。両線ともにゼロラインを超えてきたことで、視界良好、こちらは強い形状という判断でよいと思います。ただ、実体線が先週金曜日に沈んでいますので、これをどのように解釈するのかという点は難しいとしか言いようがありませんね。
- (4)今週は、ポンド円と同様に、少し様子を見てみたい感じがします。実体線が伸び切って、強い形状であることに違いはないのですが、先週金曜日の陰線の解釈があまりにも難しいからです。調整局面入りの可能性ももちろんありますし、上昇相場における単なる押しに過ぎず、週明けから何もなかったかのように買われ始める可能性もあるというのが現状ではないでしょうか。もちろん、下押ししたところを買うのは危険、極力、戻り途中あるいは高値超えを買う方がリスクは小さいように思います。

情報提供元: (株)チャートリーディング

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社チャートリーディングは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

EUR/USD

■基本データ

(株)チャートリーディング 井上 義教

[四本値]

	始値	高値	安値	終値
18/11/02(金)	1.1410	1.1456	1.1372	1.1389
18/11/05(月)	1.1385	1.1424	1.1355	1.1407
18/11/06(火)	1.1407	1.1438	1.1392	1.1424
18/11/07(水)	1.1421	1.1500	1.1394	1.1425
18/11/08(木)	1.1432	1.1447	1.1351	1.1364
18/11/09(金)	1.1364	1.1369	1.1316	1.1335
前週末比	-0.0046	-0.0087	-0.0056	-0.0054

※黄色:週間高値/安値

[高値・安値]

	過去5日	過去20日	過去75日
高値	1.1500	1.1621	1.1815
安値	1.1316	1.1302	1.1301

[移動平均]

	5日	20日	75日
18/11/02(金)	1.1367	1.1460	1.1566
18/11/09(金)	1.1391	1.1426	1.1547
前週末比	0.0025	-0.0035	-0.0019

■テクニカル指標

[MACD]

	MACD	Signal
18/11/02(金)	-0.0059	-0.0054
18/11/09(金)	-0.0048	-0.0055
前週末比	0.0011	-0.0001

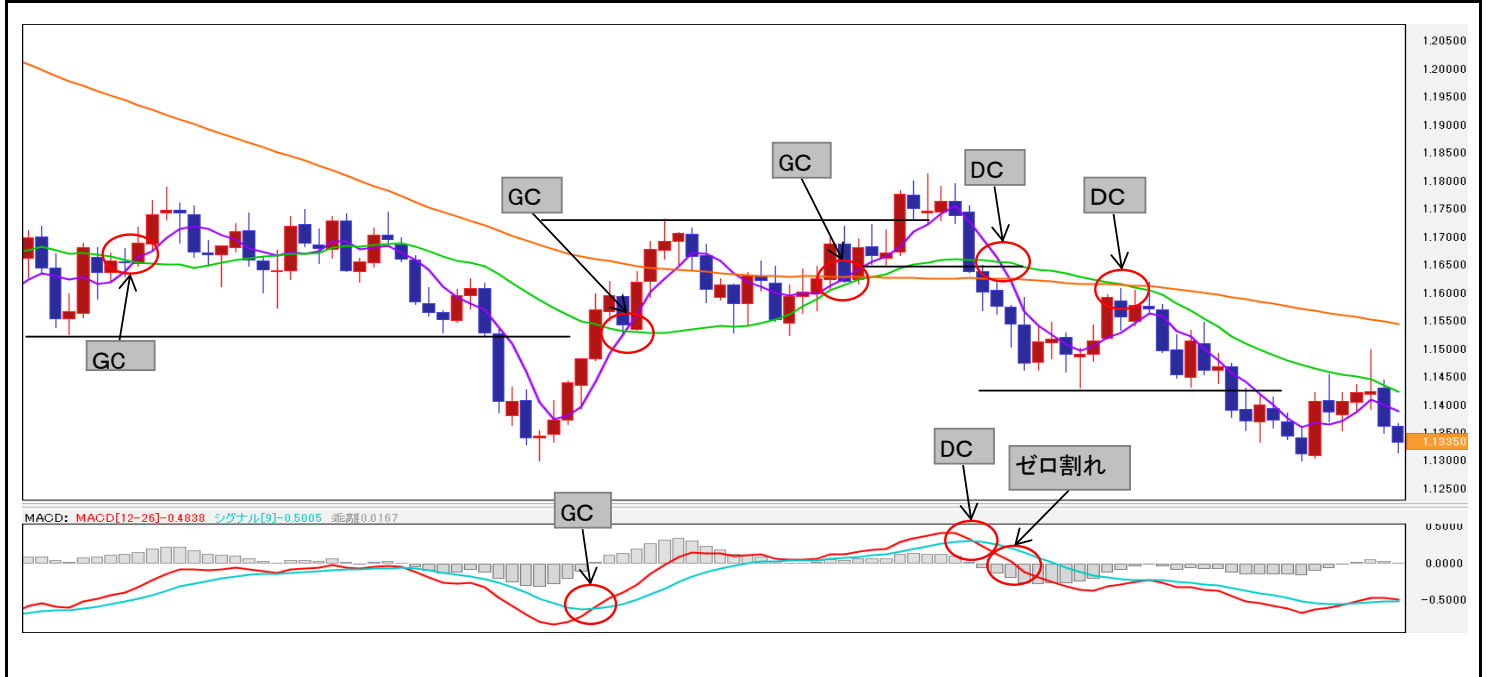
[ストキャスティクス]

	%K線(9)	%D線(5)	%DS線(5)
18/11/02(金)	45	22	16
18/11/09(金)	17	48	46
前週末比	-28	26	30

[ボリンジャーバンド]

	+2σ(20)	-2σ(20)	バンド幅
18/11/02(金)	1.1621	1.1300	0.0321
18/11/09(金)	1.1569	1.1282	0.0287
前週末比	-0.0052	-0.0018	-0.0034

[チャート]



■チャートコメント

- 先週は、水曜日に高値を付け、金曜日に安値を付ける展開でした。水曜日の長い上ヒゲがチャート上にアクセントとして残り、木曜日・金曜日が陰線の形成ということで、先安感の強いチャートと言えると思います。特に、先週の引けは、まだ先々週の安値を下回ってはいないものの、目と鼻の先まで迫ってきていますし、射程圏内というにはあまりにも近い感じがします。買い方の劣勢は火を見るよりも明らかで、安値割れは恰好の投げのターゲットポイントになってくるような印象を与えるチャート形成と言えそうです。
- 移動平均線は、短期が上昇、中期・長期が下落という動きでした。短期の上昇は実体線が先週前半にかけて戻した影響が現れているところで、相場の趨勢という意味では、中期・長期の移動平均線の向きと実体線との関係が重要なところになってきます。現状、下落トレンド入りの可能性を強く示唆する状況ではないでしょうか。
- MACDは、MACD線・シグナル線ともにあまり動きませんでした。ただ、ゼロラインの下側で潜水艦のように動いているような状況ですので、強いが弱いかと言えば弱いか弱いか言えない様子を表しています。実体線が安値を更新したとしても、ダイバージェンシーの形成には遠く、そういう意味でも売りが強く示唆されるチャートと言えると思います。
- 今週は、売り先行で臨みたいところです。先々週の安値割れは買い方にとってかなり厳しい状況になること、先週水曜日の上ヒゲがチャート上のアクセントとして今後も残ること、この辺を考えると、買えるチャートでないことは明白だと思います。安値更新は売り乗せも検討、ユーロの価値そのものが毀損する可能性を強く示唆するチャート形成ですので、安易な押し目買いはワークしないと考えた方がよいと思います。売りのロット、買い戻すのか売り乗せるのか利食うのか、この辺は難しいといか言いようがありません。

情報提供元: (株)チャートリーディング

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様が生じたいかなる損害についても、株式会社チャートリーディングは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。